

## 省資源・廃棄物削減・リサイクル促進

エンゼルのように地球にやさしく！！

廃棄物処理法の改正や食品リサイクル法等、廃棄物関連の法律が次々と施行され、社会全体が循環型社会の形成のため、廃棄物の削減、リサイクルに向けて取り組んでいる中で、当社も役割を果たすべく、目標を掲げて取り組みをおこなっています。

### 廃棄物排出量の削減

**目標** 工場からの廃棄物排出量を2010年度末までに、2005年度比10%削減する。

#### 2006年度実績

当社5工場からの廃棄物排出量は7,561tで、2005年度に比べて3.9%の削減となっています。

また製造量原単位<sup>1</sup>は0.09t/tで2005年度に比べて0.5%の減少となっています。

排水処理設備運転管理強化による脱水汚泥や、製造設備の効率的稼働見直しにより動植物性残渣、紙屑等が削減していますが、廃プラスチック類は増加しています。

排出量の前年度比では鶴見工場10.5%、中京工場11.6%、三島工場32.7%の削減が図られています。

今後とも、廃棄物排出量の削減に向けて更に活動を強化していきます。

#### 廃棄物分別管理

発生された廃棄物を種類ごとに分別をおこない、場外への排出を一括管理するリサイクルセンターに一時保管をし、適正な排出及び処理をおこなっています。

#### 2006年度5工場廃棄物排出実績

	2006年度			
	排出量 [t]	構成比 [%]	リサイクル量 [t]	リサイクル率 [%]
汚泥	1,172.0	15.5	1,172.0	100.0
廃油	14.4	0.2	14.4	100.0
廃プラスチック類	449.9	5.9	444.6	98.8
紙屑	1,473.9	19.5	1,473.9	100.0
木屑・繊維屑・ゴム屑	92.5	1.2	92.5	100.0
動植物性残渣	3,845.2	50.9	3,845.2	100.0
廃酸・廃アルカリ	0.3	0.0	0.2	57.7
金属屑	397.4	5.3	397.4	100.0
ガラス・陶磁器屑	8.6	0.1	7.9	91.8
その他	106.3	1.4	106.0	99.7
合計	7,560.5	100.0	7,554.1	99.9
	製造量原単位 [t/t]		0.09	

<sup>1</sup> 製造量原単位とは、製造重量あたりの廃棄物排出量のことをいいます。

## 廃棄物リサイクルの促進

### 目標

工場からの廃棄物のリサイクル率を向上する。

### 5 工場合計のリサイクル率99.9%

当社では全工場においてリサイクル率向上に向けて取り組んでいます。2006年度の当社5工場のリサイクル率は99.9%となり、2005年度より0.5%向上しました。

今後も適正な分別をおこない、資源の有効活用を図る為、サーマルリサイクルからマテリアルリサイクルへリサイクル方法の変更や、有価物化等の向上を推進してまいります。

### 食品廃棄物リサイクルの取り組み

製品の製造過程で発生する、動植物性残渣等食品廃棄物は現在、飼料や肥料などにリサイクルされています。食品廃棄物再生業者の選択等、リサイクル化を促進しており、当社5工場2006年度食品リサイクル率<sup>1</sup>は72.7%となりました。

今後、更に食品廃棄物の飼料、肥料へのリサイクル化に向けて取り組んでいきます。

<sup>1</sup> 食品リサイクル法に基づき、リサイクル率は熱回収分を除いて算出しています。



リサイクルセンター(中京工場)

### 廃棄物リサイクルフロー

